令和５年度実施 利益相反（秘密情報）に関する自己申告書（紙媒体様式）

この申告書は、産学連携活動に係る個人的な経済的利益の有無等についての申告書です。　　　提出された申告書は、個人情報保護の観点から厳重な管理のもとに取り扱います。

|  |
| --- |
| 【質問１】神戸大学における職種 |

□　1. 大学教員（教育職俸給表（一）適用の非常勤職員を含む。）

□　2. 1.に該当しない職員（非常勤職員を含む。）

|  |
| --- |
| 【質問２】令和４年度に、以下いずれかの産学連携活動を行いましたか。①共同研究・受託研究への参加②発明等の技術移転③兼業④研究助成金・寄附金の受入れ⑤施設・設備・物品の提供の受入れ |

□　1. はい ⇒ 【質問３～５】及び【詳細質問１～４】に回答してください。

□　2. いいえ ⇒ 以上で回答終了です。以下の設問に回答しないでください。

|  |
| --- |
| 【質問３】令和４年度に、産学連携活動の相手先企業等（企業、行政機関、その他団体）から、以下いずれかの個人的な経済的利益を得ましたか。（注：配偶者及び生計を一にする扶養親族が経済的利益を得た場合を含む。）①株式（非公開を含む）、出資金、ストックオプション、受益権等の保有②兼業（１回限りの講演等を含む）に従事し、100万円以上の報酬（謝金）③発明等の技術移転に伴う収入 |

□　1. はい　→　別添にその内容をご記入ください

□　2. いいえ

|  |
| --- |
| 【質問４】過去５年以内に企業等から神戸大学に採用された方、または、自らベンチャー企業を設立された方のみ回答してください。令和４年度に、ご自身の前職である企業等または自ら設立したベンチャー企業との委受託契約、物品調達に係る仕様書策定や技術審査等に関与しましたか。 |

□　1. はい　→　別添にその内容をご記入ください

□　2. いいえ

|  |
| --- |
| 【質問５】令和４年度に、秘密情報の提供を受けるにあたり特別な管理※を企業等から　要請されたことはありますか。※NDAやCDA、その条項を内包する各種契約書において、通常の契約書内容とは異なる特別な管理 |

　□　1. はい　→　別添にその内容をご記入ください

　□　2. いいえ

以上相違ありません。

年　　月　　日

所属・職

署　　名

別添

質問３、質問４、質問５に「1. はい」と回答の方のみ、詳細設問に沿って開示をお願いします。

【詳細質問１】**質問３に回答**の個人的な経済的利益を得た企業等との産学連携活動の内容を

ご記入ください

|  |  |
| --- | --- |
| 相手方企業等の名称及びその産学連携内容（囲み内の①～⑤から選択し、該当内容に☑）： （なお、外国企業の場合には、企業等名称とその所在地情報を開示ください）例 1. ○○○株式会社－□①, □②, □③, □④, □⑤ 2. 株式会社▽▽▽－□①, □②, □③, □④, □⑤ 3. ABCD Inc., Boston, MA, USA－□①, □②, □③, □④, □⑤*（上記の例1.～3.を状況に応じて改変・削除、又は3.に続けて追加記載してください）*

|  |
| --- |
| 産学連携の内容：①共同研究・受託研究への参加、②発明等の技術移転、③兼業④研究助成金・寄附金の受入れ、⑤施設・設備・物品の提供の受入れ |

③の兼業の具体的内容等：例）取締役等役員、講演会等講師、アドバイザー(技術・経営）1.：□取締役等役員、□講演会等講師、□アドバイザー(□技術・□経営）2.：□取締役等役員、□講演会等講師、□アドバイザー(□技術・□経営）3.：□取締役等役員、□講演会等講師、□アドバイザー(□技術・□経営） |

【詳細質問２】**質問３に回答**の個人的な経済的利益の内容をご記入ください

|  |
| --- |
| 株式等の保有状況（保有株式数、前年度からの増減）： 産官学連携活動による年間収入額 |

【詳細質問３】《質問４「はい」回答》過去５年以内に企業から採用された方または自ら

ベンチャー企業を設立された方が、前職企業または自ら設立したベンチャー

企業からの物品調達等に関与した内容を具体的にご記入ください

|  |
| --- |
| 大学との委受託契約、大学が行う物品調達における仕様策定や技術審査への関与等 |

【詳細質問４詳細】《質問５「はい」回答》企業等から、要請された秘密情報についての

特別な管理※内容をご記入ください

|  |
| --- |
| ※NDAやCDA、その条項を内包する各種契約書において、通常の契約書内容とは異なる特別な管理 |